

平成 28 年度平塚湘風高等学校不祥事ゼロプログラム実施結果

1 実施責任者

県立平塚湘風高等学校不祥事ゼロプログラムの実施責任者は校長とし、副校長、教頭がこれを補佐した。

また、総括教諭は、校長、副校長、教頭を補佐し、企画会議を通じてこれを推進した。

2 目標及び実施結果

(1) 平塚湘風高等学校全体としての目標及び実施結果

平塚湘風高等学校では、不祥事の未然防止を図るため、次に掲げる 10 項目を基本とし、県民の要請と期待に応えるため、職員全員が参加して継続的に実施、検証を行った。

(2) 平成 28 年度における基本 10 項目

平塚湘風高等学校では、次に掲げる 10 項目を平成 28 年度における基本項目とした。

- ① 法令遵守意識の向上（公務外非行の防止、職員行動指針の周知・徹底を含む）
- ② わいせつ・セクハラ行為の防止
- ③ 体罰、不適切な指導の防止
- ④ 成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止
- ⑤ 個人情報等の管理、情報セキュリティ対策（パスワードの設定、誤廃棄防止）
- ⑥ 交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守
- ⑦ 業務執行体制の適正化（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）
- ⑧ 会計事務等の適正執行
- ⑨ 入学者選抜業務における事故防止
- ⑩ 教員経験の浅い職員（採用後 5 年以内）による不祥事防止

(3) 各基本項目の目標及び実施結果

- ① 法令遵守意識の向上（公務外非行の防止、職員行動指針の周知・徹底を含む）

担当：研究開発グループ

ア 目標

教育公務員として公務に携わることを自覚し、法令を遵守し、公務・公務外を問わず県民から信頼される行動をとる。

イ 実施結果

- i 平成 28 年度の不祥事ゼロプログラムを職員に提示し、職員の問題意識を高めた。服

務について、公務員としての自覚とモラルの向上、法令遵守についての認識を深めた。また、今年度は教職員の選挙運動の禁止をテーマに研修を行った。

- ii 副校長・教頭を中心に、職員室内をはじめ風通しの良い職場づくりを推進し、職員のコミュニケーションの向上を図った。

② わいせつ・セクハラ行為の防止

担当：キャリア支援グループ

ア 目標

セクハラ・わいせつ行為等の発生を未然に防止する。

イ 実施結果

- i わいせつ・セクハラ行為の防止について、基本となる人権・人格の保護意識の涵養を図るとともに、職員会議や朝の打合せにおいて、管理職から継続的に注意喚起を行うことにより未然防止に取り組んだ。
- ii 職員相互の良好なコミュニケーションにより、ハラスメント防止に繋がった。

③ 体罰、不適切な指導の防止

担当：活動支援グループ

ア 目標

生徒の人権に配慮した指導に努めるとともに、生徒に対する体罰・不適切指導の発生を未然に防止する。

イ 実施結果

全期間を通して新聞記事や職員啓発資料等を活用し、職員の意識啓発を図った。特に「適切な生徒指導」についてあらためて事故防止会議において再点検した。

④ 成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止

担当：学習支援グループ、キャリア支援グループ

ア 目標

教育公務員として適正に業務を執行し、ミスのない書類の作成・発行を行う。

イ 実施結果

- i 成績処理業務、進路関係書類の作成及び点検業務の体制を整備して、事故防止に努めた。
- ii 副校長・教頭を中心に、各定期試験期間はもとより、年間を通じて注意喚起を徹底した。

⑤ 個人情報等の管理、情報セキュリティー対策（パスワードの設定、誤廃棄防止）

担当：学習支援グループ

ア 目標

個人情報の流出・漏洩を未然に防止し、個人情報の適正な管理・取扱いを厳守する。

イ 実施結果

- i 個人情報の管理について、事例等を紹介し、教職員の理解を深めた。
- ii 情報媒体（主に USB メモリ）の管理及び携帯電話やメール等における個人情報保護・管理を徹底した。

⑥ 交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守

担当：生徒支援グループ

ア 目標

交通事故の発生を未然に防止するとともに、酒酔い・酒気帯び運転を未然に防止する。

イ 実施結果

- i 全期間を通して、交通法規に則った安全な交通手段の利用を徹底するように啓発した。
- ii 交通事故防止・酒酔い・酒気帯び運転防止について事故防止会議を開催して、より徹底を図った。

⑦ 業務執行体制の適正化（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）

担当：学習支援グループ

ア 目標

教育公務員として適正に業務を執行し、県民の要請・期待に応える。

イ 実施結果

- i 外部への配付文書、調査書や指導要録、定期試験等の校内点検業務の体制を確立し、複数による点検・確認の徹底を図った。
- ii 全期間を通して、丁寧な窓口対応、電話対応等を実践するとともに、保護者への適切な対応を徹底した。

⑧ 会計事務等の適正執行

担当：管理運営グループ

ア 目標

公費・私費会計の徴収・執行及び職場内の現金管理等に関する不祥事を、未然に防止する。

イ 実施結果

- i 年度当初に会計の執行に関する研修会を実施し、会計事故の未然防止に取り組んだ。
- ii 備品の現物照合を集中的に実施した。

⑨ 入学者選抜業務における事故防止

担当：入学者選抜委員会

ア 目標

志願者データ・答案等の処理に係る業務を適正に行う。

イ 実施結果

入学者選抜における事故防止について、今年度から導入された採点システムの周知を図るとともに、業務の点検体制を整備し、適切に遂行した。

⑩ 教員経験の浅い職員（採用後5年以内）による不祥事防止

担当：各教科・各グループ・総括教諭・管理職

ア 目標

社会人・公務員としての自覚や不祥事を起こさない意識・行動の醸成、服務規律の確保を行う。

イ 実施結果

- i 全期間を通して、管理職や総括教諭を中心に、若手職員に対して社会人・公務員としての自覚や不祥事を起こさない意識・行動の醸成を行った。
- ii 教職員相互の声かけの励行により、気軽に相談できる雰囲気作りに努めた。